

この史跡

百聞は

一見に如かず

近代化遺産 全国一斉公開2024

特別公開 国史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」

明治9年（1876）に日本初の官営火薬工場として設立された国史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」を特別公開します。

この地には戦前、火薬の生産や研究のために使われた特殊な施設の遺構や、戦後に火薬製造所が閉鎖され、異なる用途に転用された歴史的建造物が保存されています。

板橋区に残るこの近代化遺産は、日本近代の科学技術の歴史を今に伝えています。

2024年10月20日（日）雨天中止

午前10時から午後4時まで（最終入場は30分前）

【公開場所】AM：旧野口研究所／PM：旧野口研、旧理化学研究所
参加無料、申し込み不要

写真：物理試験室（1号館） 宿直室
理化学研究所宇宙線研究室時代に増築された部屋。室員は宿直体制で、24時間体制での観測事業を支えた。

主催：板橋区教育委員会事務局生涯学習課 協力：産業経済部産業振興課

国史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」とは

明治9年（1876）、加賀藩下屋敷平尾邸の跡地に、陸軍省が国内初の官営火薬工場として板橋火薬製造所を建設しました。殖産興業政策の中で生まれた板橋火薬製造所は、終戦まで約70年間、火薬の生産、研究における中心的な役割を担いました。敷地は50万㎡に拡大し、数百の建物・施設が存在していました。

戦後、火薬製造所が閉鎖されると、敷地は大蔵省の管理となり、民間企業の工場、学校、研究所（野口研究所、理化学研究所など）が入居しました。

近年、加賀地域では再開発事業が進み、戦前の遺構はわずかとなりましたが、歴史的建造物や遺構が残っていた加賀公園、旧野口研究所、旧理化学研究所の敷地が、平成29年（2017）国史跡に指定されました。

国内でも珍しい火薬製造に関する近代化遺産として注目されています。



写真上
弾道管
(通日公開)



写真中
加賀公園
(通日公開)



写真下
旧理化学研究所
(午後のみ公開)

この史跡

百聞は

一見に如かず

公開スケジュール

10月20日（日） 午前10時～午後4時まで
最終入場は午後3時30分まで、雨天中止

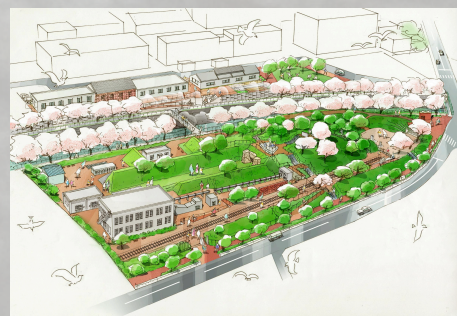
申し込みは不要です。公開時間中にお越しください。

エリアによって公開時間が異なります。

近代化遺産全国一斉公開

近代化遺産の魅力を体感し、日本の近代化の歩みを振り返るために、全国の近代化遺産を一斉に公開する事業で、毎年10月20日（近代化遺産の日）を中心に全国近代化遺産活用連絡協議会と文化庁が開催しています。

板橋区史跡公園(仮称)整備事業



板橋区は平成29年に指定された国史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」（板橋区加賀一丁目）を整備し、近代化遺産を保存活用した都内初となる史跡公園の整備を目指しています。

アクセス

会場まで直接お越し下さい。会場に駐車場・駐輪場はございません。

東京都板橋区加賀1丁目7番（旧理化学研究所）、8番（旧野口研究所）
・都営三田線「板橋区役所前」駅徒歩15分、「新板橋」駅徒歩10分
・JR埼京線「十条」駅徒歩15分、「板橋」駅徒歩15分
・国際興業バス「東板橋体育館入口」徒歩5分



当史跡は未整備エリアです。見学中は足元にご注意いただき、保存状況がすぐれないものもございますので、破損などにはお気をつけください。

主催：板橋区教育委員会事務局生涯学習課 協力：産業経済部産業振興課

電話：03-3579-2664

メール：ky-kindaiisan@city.itabashi.tokyo.jp

近代化遺産 全国一斉公開2024

特別公開 国史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」

この史跡

百聞は

一見に如かず

明治9年（1876）に日本初の官営火薬工場として設立された国史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」を特別公開します。

この地には戦前、火薬の生産や研究のために使われた特殊な施設の遺構や、戦後に火薬製造所が閉鎖され、異なる用途に転用された歴史的建造物が保存されています。

板橋区に残るこの近代化遺産は、日本近代の科学技術の歴史を今に伝えています。

2024年10月20日（日）雨天中止

午前10時から午後4時まで（最終入場は30分前）

【公開場所】AM：旧野口研究所／PM：旧野口研、旧理化学研究所
参加無料、申し込み不要

写真：燃焼実験室 階段手すり

戦時中の昭和18-20年に建てられた火薬研究所自体のRC建築。簡素な装飾の手すりは昭和モダニズムの雰囲気。

主催：板橋区教育委員会事務局生涯学習課 協力：産業経済部産業振興課

この史跡

百聞は

一見に如かず



写真左：弾道管（通日公開）／写真中：加賀公園（通日公開）／写真右：旧理化学研究所（午後のみ公開）

国史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」とは

明治9年（1876）、加賀藩下屋敷平尾邸の跡地に、陸軍省が国内初の官営火薬工場として板橋火薬製造所を建設しました。殖産興業政策の中で生まれた板橋火薬製造所は、終戦まで約70年間、火薬の生産、研究における中心的な役割を担いました。敷地は50万㎡に拡大し、数百の建物・施設が存在していました。戦後、火薬製造所が閉鎖されると、敷地は大蔵省の管理となり、民間企業の工場、学校、研究所（野口研究所、理化学研究所など）が入居しました。

近年、加賀地域では再開発事業が進み、戦前の遺構はわずかとなりましたが、歴史的建造物や遺構が残っていた加賀公園、旧野口研究所、旧理化学研究所の敷地が、平成29年（2017）国史跡に指定されました。国内でも珍しい火薬製造に関する近代化遺産として注目されています。

公開スケジュール

10月20日（日） 午前10時～午後4時まで
最終入場は午後3時30分まで、雨天中止

申し込みは不要です。公開時間中にお越しください。

エリアによって公開時間が異なります。

近代化遺産全国一斉公開

近代化遺産の魅力を体感し、日本の近代化の歩みを振り返るために、全国の近代化遺産を一斉に公開する事業で、毎年10月20日（近代化遺産の日）を中心に全国近代化遺産活用連絡協議会と文化庁が開催しています。

板橋区史跡公園(仮称)整備事業



板橋区は平成29年に指定された国史跡「陸軍板橋火薬製造所跡」（板橋区加賀一丁目）を整備し、近代化遺産を保存活用した都内初となる史跡公園の整備を目指しています。

アクセス

会場まで直接お越し下さい。会場に駐車場・駐輪場はございません。

東京都板橋区加賀1丁目7番（旧理化学研究所）、8番（旧野口研究所）

- 都営三田線「板橋区役所前」駅徒歩15分、「新板橋」駅徒歩10分
- JR埼京線「十条」駅徒歩15分、「板橋」駅徒歩15分
- 国際興業バス「東板橋体育館入口」徒歩5分



当史跡は未整備エリアです。見学中は足元にご注意いただき、保存状況がすぐれないものもございますので、破損などにはお気をつけください。

主催：板橋区教育委員会事務局生涯学習課 協力：産業経済部産業振興課

電話：03-3579-2664

メール：ky-kindaisan@city.itabashi.tokyo.jp